

大項目	心理的な安定①情緒の安定
小項目	深呼吸
タイトル (教材名)	しんこきゅう【ウサギの呼吸】
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともにリラックスすることができる。 ・リラックスできる方法を自ら実践することができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p style="text-align: center;">① しんこきゅう</p>  <p style="text-align: center;">② うさぎのこきゅう</p>  <p style="text-align: center;">③ うさぎのこきゅう</p> 
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・深呼吸とはどういった体の動きをするのか、またその動きを行うことでどういった心理的な効果があるのかを、画像①のようなイラストを用いて簡潔に説明する。 (教示の例) 「背筋を伸ばしてまっすぐ椅子に座りましょう」「目を閉じておこなってもいいですよ」 「深呼吸とは、嫌な気分でも心と体がいっぱいにならないように、少し止まって、『今この時』を感じることで」「自分の心と体に注意を向けることです」 「深呼吸をすることで、心も体もリラックスすることができます」 【ウサギの呼吸】(教示の例)(画像②、③などを用いてもよい) 「背筋を伸ばしてまっすぐに椅子に座って、手でウサギの足を作ってみましょう」 「鼻で、ウサギのように速い呼吸をしてみましょう」 「クン、クン、クン、クンと息を吸い込み、その後、息を全部はきだしましょう」 「もう一度、鼻で、ウサギのように速い呼吸をしましょう」 「クン、クン、クン、クンと息を吸い込み、その後、息を全部はきだしましょう」 「両手をお腹の上に乗せて、お腹の様子を感じてみましょう」 「お腹が膨らんだり、へこんだりしているのがわかりますか？」
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・胸式呼吸ではなく、腹式呼吸を繰り返し行うことで、児童生徒が自分の体に意識を集中することが大切です。 ・はじめは1分ほどで構いませんが、徐々に深呼吸を行う時間を長くしていきます。 ・自立活動の他の項目との関連例 ＜人間関係の形成＞①他者との関わりの基礎 ・参考文献「子どものためのマインドフルネス」キラ・ウィリー 創元社 2018年

